

-----10月14日-----

※ 今週のアウトルック (10/14~10/18)

先週は月曜日こそ、円買いが進みましたが、その後は円売りに転じています。米国国債のデフォルトは「絶対にありえないこと」という見方が日に日に強くなり、さらにはFRBの追加緩和期待にまで進んでいる、ということなのかもしれません。今週も米ドル買いの行き過ぎ修正を見ながら、17日の動向にも注目したいところです。

ドルは円に対して、ドルの買い戻しが進みました。米国の政局が解決方向に向かっているわけではないのですが、「最終的には和解を見る」という見方から、その後を見据えた動きとなっているようです。ただ、万が一を予見させるような出来事には市場が一気に反応することもあるので、注意が必要なように思います。

ドル円の予想レンジは96円から99.5円です。

ユーロはこのところ続いてきた、リスクオフからの円買いの反動により、ユーロ高に転じていますが、先行的な要因が強いため、行き過ぎの警戒感から調整が入ることも考えられます。また、米国政局の動向や要人発言によって、一気に流れが変わることも考えられるので、安易の円売りは避けたほうが良いかもしれません。

ユーロ円の予想レンジは131円から135円です。

ポンドは先週、調整が落ち着いてきた感じがあります。ただ、更なる高値を狙うには、米国の政局次第ということになり、もう少し時間がかかりそうです。

ポンド円の予想レンジは155円から159.5円です。

今週は米国政局安定後を見据えた動きと、行き過ぎの修正を交互に交えながらの動きとなりそうですが、不安要素には一気に反応する危険性を含んでいるので、十分な注意が必要なように思います。

免責事項

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。